



《現状把握》

○国語、算数ともに「主体的な学び」が大幅に全国平均を下回っている。教師主導の授業ではなく、児童が「学びたい、知りたい、調べたい」と思える課題を設定し、学習を展開させるような授業改善が必要である。

《授業改善のポイント》

基礎基本の定着を図るため、授業や学習タイムの時間にタブレット端末を活用した学習を通して反復学習をすることで基礎力の定着を図る。算数では、習熟度別の少人数指導を行い、習熟度に応じた課題の設定やきめ細やかな指導に努めていく。国語科では、教師が学年の系統性を意識し、児童の実態に応じて身に付けさせたい力を明確にし、単元計画を立てていく。また、国語・算数への興味・関心を高めるために、授業の導入を工夫したり、学習内容を実体験と結び付けたりするなど授業の内容を工夫していく。

《家庭・地域への働きかけ》

○「篠五小家庭ルール」や「SNS篠五小家庭ルール」を活用しながら、生活習慣を整えられるよう家庭にも協力を促していく。また、「江戸川っ子 study week!」期間を中心にタブレット端末を活用した家庭学習への協力を家庭に呼びかけ、家庭学習の習慣を身に付けさせていく。